

「心臓血管外科術後患者における術後身体機能と在院日数との関連についての検討」について

加古川中央市民病院リハビリテーション室では、現在、当院心臓血管外科にて開胸および開心術を施行され、リハビリテーションを導入した患者さんを対象に、下記内容の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

平均寿命の延伸や周術期管理の進歩によって、ハイリスクな高齢の患者さんが、心臓血管外科手術の対象となってきています。しかし、術後に明らかな合併症が起らなかった場合においても、日常生活動作能力が低下する方や、入院期間が延長したり、回復期リハビリテーション病院へ転院される場合があります。手術を行っている全国の施設において課題となっています。歩行速度低下が術後の回復に影響することが報告されています。そこで、当院心臓血管外科術後患者さんの10m歩行速度および術後身体機能と在院日数の関連について調査おこなっています。本研究から得られた結果をもとに、心臓血管外科術後のADL低下や入院期間の延長予防に向けて、当院での術前心臓リハビリテーションの必要性について検討させていただきます。

【研究期間】

対象研究期間：西暦2017年4月1日～2020年3月31日

研究期間：病院長承認日～2023年3月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

心臓血管外科術後のリハビリテーション進行日数(端座位、立位、歩行練習、200m歩行達成時期)、在院日数、身体運動機能(10m歩行時間、握力、膝伸展筋力、片足立位時間、椅子立ち座り試験)、診断名、年齢、性別、手術内容、合併症、冠危険因子、血液検査、心臓エコー検査

【個人情報保護の方法】

本研究に関与する者はデータ取扱者として個人情報保護のために細心の注意を払う。研究の結果を公表する場合は患者さんを特定できる情報は含みません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：診療録より調査するため、不利益になることはありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、研究発表後に患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。お断りになられても、その後の診療において不利益を受けることはありません。患者さんのデータを用いたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた時は、廃棄できませんのでご了承ください。

【研究期間の研究に係る利益相反及び個人の利益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況】

研究責任者及び分担研究者に開示すべき利益相反はありません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリテーション室

研究責任者名：大西伸悟

連絡先：079-451-5500